

長久手市行政評価票

事業番号	116	事業の名称	救急業務	担当部署	部	課
					消防本部	消防署

事業の概要	災害により生じた事故若しくは屋外若しくは公衆の出入する場所において生じた事故又は政令で定める場合における災害による事故等に準ずる事故その他の事由で政令で定めるものによる傷病者のうち、医療機関その他の場所へ緊急に搬送する必要があるものを、救急隊によって、医療機関その他の場所に搬送すること。また、現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに行うことが、救命率向上の要件となる「救命の連鎖」の構築が重要なことから、AEDの使用方法を含め応急手当の普及啓発を行うとともに、増加する救急需要に対応するため、救急車の適正利用を啓発する。また、医学的見地から救急業務の質を保証するため、メディカルコントロール体制を維持し、救急救命士等の知識・技術の向上を目的とした教育体制の充実を図る。			他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年中の救急出動件数は、全国で5,711,102件で平成16年から連続して500万件を超えており、全国で一日平均15,637件となります。国民の25人に1人が救急隊により搬送されたこととなります。(総務省消防庁) 他市町の状況(救急出動件数)平成24年中 瀬戸市5,129件、尾張旭市2,754件、豊明市2,652件、日進市2,615件、みよし市1,848件、東郷町1,188件						<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
	評価の見方																						
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業期間	事業開始年度	昭和55年	終了(予定)年度	継続	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算													
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民及び市内滞在者					うち	一般財源	7,462	5,129	6,995	7,388												
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	市民に対する応急手当の普及啓発事業及び現場到着、医療機関への搬送を迅速に行うとともに、現場から医療機関への適切な救命処置を行い救命率の向上を図る。						国費・県費	0	0	0													
					地方債		0	0	0														
						その他	0	0	0														
						受益者負担額	0	0	0														

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				意図(対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績			H25予算	H25決算			
① 救急業務	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●●●	救急通報等により出動し、人員及び救急資器材等を活用し、救急処置等を実施することで	救命率の向上を図る。	救急出動件数 1,582件 (平成25年中)	救命率 = 1ヶ生存者数 / 心肺停止傷病者病院搬送数 × 100	9	%	前年度からの向上	7,004	4,696	病院研修委託 救急隊出向病院研修 399 救急救命士気管挿管教育 546 救急機材 自動体外式除細動器(AED)の更新(1式) 791 連続的呼気終末二酸化炭素測定器 790 新型感染防止衣 677	A	現行のとおり実施していく。救命率の向上のため、メディカルコントロール体制を維持し、救急救命士等の知識・技術の向上や救急資器材の充実を図った。		
		14					6,502			6,903						
		12					6,408									
② 応急手当普及啓発	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●●●	一般市民向け救急講習会及び団体向け、中学生を対象にした救命講習を開催することで	現場に居合わせた人が応急手当を行い救命率の向上を図る。	125回開催 受講者 2,581人	受講者数	2,206	人	前年度からの増加	458	433	救命講習(テキスト等) 432	A	現行のとおり実施していく。応急救護ボランティアを含めた講習会実施の増加		
		2,581					440			432						
		2,300					403									
③ 救急車の適正利用	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●●●	街頭広報、ケーブルテレビ、市広報紙、救急車に適正利用標示(通年)、救急講習会等を実施することで	救急車のタクシー代わりの利用減少を図る。	軽症者利用割合40%	軽症者利用割合	46	%	前年度からの減少	0	0	街頭広報、ケーブルテレビ、市広報紙、救急車に適正利用を標示、救急講習会で啓発等 53	A	現行のとおり実施していく。増加する救急需要に対応するため、軽症割合の高い地域への重点広報活動の実施		
		40					53			53						
		42					54									

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
					救急隊の増隊	市民からの救急要請の増加に伴い、救急隊常時2隊体制を構築する。
					応急救護ボランティア・普及員の増員	ボランティア等と協力して講習受講機会の増加を図る。